

(様式1) <b>平成19年度 事務事業評価表</b>						
記入年月日	平成19年3月30日		記入者		連絡先	780-1416
平成18年度部名	経済部		課名	津久井経済課	課長名	佐藤
平成19年度部名	経済部		課名	津久井経済課	課長名	佐藤
事務事業名	農道等維持補修事業					
予算上の事務事業名	農道等維持補修事業					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	31530	
基本目標	「躍動し魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第1章立地特性を生かした産業の振興を旨とします					
基本施策名	第5節都市農業の振興					
施策名	第3施策農地保全と農業基盤の整備					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	農業振興地域の整備に関する法律					
3 個別計画の概要				概要		
計画名	農業振興地域整備計画(津久井町)			農業生産環境及び基盤と緑地としての保全を行うとともに、農業の担い手の育成、確保を図り、地域特性を生かした都市近郊型農業を推進する。		
計画年次	17	年度～	22			
4 事業形態の区分	維持・管理・補修			5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
既存の農業施設(水路・農道)の破損等、箇所の維持補修を定期的に行い、円滑な農業生産活動を向上させる。				農道総延長 20,674m		
(3)平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
<ul style="list-style-type: none"> <li>津久井町青野原梶野地区の市営梶野農道隣接農地は、路肩部分の崩落による法面成型延長4.3m実施</li> <li>青根向井地区の農業用水路の漏水対策として、側溝補修工32mを実施。</li> <li>長竹地区の長竹西農道の路面補修として敷砂利工 200㎡、60mを実施</li> </ul>						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	神奈川県内の市町村も、同様の施設を所有管理しており事業の実施がされている。					
8						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	756	800	800	
一般財源	0	0	756	800	800	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	402	402	402	
事業コスト合計	0	0	1,158	1,202	1,202	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	農道等維持補修事業			対象名称 と単位	工事延長 96.3m	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	756,000	800,000	800,000	
対 象 数	0	0	96	100	100	
単位あたり経費(円)	0	0	7,850	8,000	8,000	
前 年 度 比			0.00	0.00	101.91 100.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	整備率 %	指標式と指標の説明		整備済延長÷整備要望延長×100＝整備率（％）	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	96.3		
目標	0.0	0.0	96.3	100.0	100.0
目標達成度（％）	0.0	0.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	整備率 %	指標式と指標の説明		整備済延長÷整備要望延長×100＝利用率（％）	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	96.3		
目標	0.0	0.0	96.3	100.0	100.0
目標達成度（％）	0.0	0.0	96.3		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[	]：良好な状態を維持する事業			
	[	]：概ね良好な状況である事業			
	[	]：見直しを行う必要がある事業			
	[	]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		農道の円滑な通行を図ることで、荒廃地対策はもとより、農地の利活用に貢献できる。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
農道や用水路を適切に管理することにより、農業就業者の労働力の省力化に貢献できる。			農作業の効率化を図るため、大型機械など活用できる農道整備が必要と考える。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			